

令和5年3月4日

メール誤送信に関するご報告とお詫び

四国放送株式会社

徳島県内の統一地方選挙の取材において、当社が保有していた立候補予定者4名の個人情報が記載された調査表及びご本人の写真のデータを、意図しないメールアドレス宛に誤送信する事案が発生しました。誤送信の対象となった4名の方、並びに関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。こうした事態を重く受け止め、当社では取材・制作時における個人情報保護の重要性を再認識するとともに、今後、全社的に再発防止に向けた取り組みを徹底いたします。

なお、上記4名の方には事案把握後すみやかに状況や経緯等をご報告の上、個別に謝罪させていただきました。個人情報の誤送信という事案の性質及びご本人らのご意向等を総合的に考慮し、4名の方の特定に繋がる情報は控えさせていただきます。何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

【概要】

1. 発生日時

令和5年3月1日（水）午前0時頃

2. 経緯

四国放送記者が立候補予定者の住所・電話番号・経歴などの個人情報が記入された調査表及び本人の顔写真のデータを、業務上の必要性から、やむを得ず社用携帯から自身のプライベートアドレス宛に送信しようとしたところ、手入力でアドレスを入力してしまったことによりミスが生じ、そのことに気が付かないまま送信してしまった、というものです。プライベートアドレスの方で受信ができなかったため、記者が社用携帯の送信メールを見直したところ、あやまったメールアドレスの入力と誤送信に気が付きました。また、当該データにはパスワードの入力などの閲覧制限はかけておりませんでした。

その後、誤送信先にはデータを閲覧することなく削除するよう依頼するメールを送っておりますが、現在までに返事や問合せ等は届いておりません。

3. 関係者への対応

誤送信の対象となった立候補予定者4名の方々に対しては、事案把握後、すみやかに訪問または電話にて直接ご本人に経緯や現状を説明し、謝罪いたしました。

4. 原因と今後の対応

業務上の必要性が認められたとはいえ、パスワード等の閲覧制限を掛けることなく、手入力でのプライベートアドレスへの送付を行うなど、個人情報の取扱いに当たって当然備えるべき必要な注意と配慮が明らかに欠けていたと考えております。今後は、当面プライベートアドレスの業務使用を原則禁止とするほか、重要なデータの送付時には必ずパスワード設定を施すなど、組織一丸となって更なる情報管理体制の強化に努め、再発防止を徹底いたします。

以上